新編武藏國風土記稿 橘樹郡 巻之六十二

和書門 類
一六五一〇 號
二二三 函
一 架
二五五 冊

内閣文庫
和書 類
一六五一〇 號
二五五 冊
一七三 函
一八 架

内閣文庫	
番號	和 16510
冊數	255(62)
函號	173 210

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

新編武藏風土記巻之六十二目録

橘樹郡之五

稲毛領

久本村

末長村

平村

土橋村

馬絹村

有間村

浅草文庫

日本政府図書

書籍館印

梶ヶ谷村
上野川村
下野川村

新編武藏風土記巻之六十二

橘樹郡之五

稲毛領

久本村

久本村ハ。郡ノ北ニアリ。小田原北條家分國ノ頃ハ。島津又次郎カ知行稲毛久本十四貫二百文。後藤惣次郎カ知行小机久本十三貫六百三十二文ト。永禄年中ノ役帳ニ記シタレバ。其頃ハハヤ開ケシ村ナルコトハ知ラル。サレド今ハ小机ノ唱ナシ。江戸日

本橋ヨリ行程五里ニ過ズ。村ノ廣サ。凡東西ヘ六町許南北モ又六町餘ナリ。四境。東ハ坂戸村ニ界ヒ。西ハ下作延末長ノ二村ニ交リ。南モ末長村ニテ。北ハ溝ノ口村ニ隣レリ。地頭ハ長坂血鑓九郎。川勝主税ノ二人ニテ。民家三十九軒。土性ハ真土。或ハ野土交レリ。田多クシテ畑少シ。検地ハ明暦二年地頭長坂十郎兵衛改メシヨシ水帳ニ見ユ。川勝主税カ知行ノ方ハ検地ノ年代ヲ傳ヘズト云。當村ニ一條ノ街道アリ。相州矢倉澤ヘ通フ道ナリ。溝ノ口村ヨリ入村内北ノ境一町半程ヲ経テ下作延村ニ達ス。道幅凡二間バカリ。

高札場　村ノ南長坂血鑓九郎カ知行所ノ中ニアリ。

小名

前田(マヘダ)　村ノ東。山ノ裾通リヲ云。

頭田(カシラダ)

六段田(ロクタンダ)

西町(ニシマチ)

島(シマ)シリ

五明(ゴミヤウ)

ムカ田
池ッ千
フカ町
中島(ナカジマ)　以上。村ノ東ニアリ。
コヤ田
舟ヶ町
レノ町
ソリ二千　以上。巽ノ方ヲ云。
屋ヵ町
辻下

三常房(サンジヤウバウ)　以上。南ノ方ニアリ。
八段町(ハツタンチヤウ)
鴻ノ免(コウノメン)
銭子町(ゼンコ)
ヤキワ
スガル田
八幡義(ハチマンギ)
長谷(ナガヤト)
坊谷(ボウヤト)
關免(セキメン)　以上。北ノ方ニヨリテアリ。

猿田(サルタ)
コノヘ　以上。村ノ舊記ニ見エタレド。今
其地ヲ失セリ。

水利

用水　北ノ方溝ノ口村ヨリ流来リ。村内ヲ過テ末長
村ニ通ズ。土人是ヲ根堀ト云。

神社

八幡社　村ノ中央ヨリ艮ノ方ニアリ。社一間半ニ
二間。拜殿二間ニ三間。南ニ向フ。社前ニ鳥居ヲ建。
柱間七尺。例祭九月十一日。

末社

辨天社　本社ニ向テ左ニアリ。

杉山社　村ノ艮ノ方丘上ニアリ。滝臺寺ノ持。

杉山社　村ノ南ノ方ニアリ。是モ瀧臺寺ノ持ナリ。
神躰ハ十一面觀音。立像一尺許ヲ安ス。是モ丘上
ニアリ。

神明社　村ノ中央丘上ニアリ。瀧臺寺持。

寺院

大蓮寺　村ノ中央ニアリ。淨土宗郡中上小田中村
泉澤寺末。光明山金台院ト號ス。寛永二年十一月

国立公文書館 National Archives of Japan

十日起立セリ。開山聞能ハ延寶六年七月廿九日寂ス。本尊彌陀。座像ニテ二尺許ナルヲ安ス。客殿東向ニテ六間ニ四間半。

大日堂 客殿ニ向テ左ノ方ニアリ。大日ハ坐像ニシテ長三尺許。行基ノ作ト云。堂ハ三間四方ナリ。

觀音堂 是モ同ク左ノ方ニアリ。正觀音一尺五寸ナルヲ安ス。堂ハ二間半ナリ。

瀧臺寺 村ノ南ノ方ニアリ。天台宗ニテ多磨郡深大寺村深大寺ノ門徒ナリ。命符山理生院ト號ス。開山詳ナラズ。中興開基ヲ法印良辨ト云。延寶九年正月十一日寂ス。初ハ瀧臺院理生寺トイヒシヲ。後改メ唱フトイヘド。イツノ頃ヨリノ事ニヤ詳ナラズ。地頭長坂血鑓九郎ヨリ寄附スル所ノ石燈篭アリ。命符山理生寺別當滝臺院ト記シ。慶安二年極月十五日ト刻セリ。サレバ瀧臺院ヲ寺ト唱ヘシコトハ。慶安ノ後ナルコトヲ知ルベシ。客殿五間ニ五間半。東向ナリ。本尊ハ地藏ノ坐像。長一尺許ナルヲ安ス。

毘沙門堂 客殿ニ向テ左ノ方ニアリ。小堂ナリ。

毘沙門ノ像ハ傳教大師ノ作ナリト云傳フ。

末長村

末長村ハ。久本村ノ東ニアリテ。日本橋ヨリノ行程モ大抵同シ。古ハ稲毛庄ト唱ヘシコト。古キ記録ニモ見ユ。郷名ハ失セリ。村名ノ起シユヘハ詳ナラズ。村ノ四境。東ノ方ハ新城村ニ隣リ。南ノ方ハ新作村ニ接シ。坤ハ梶ケ谷村ニ傍ヒ。西ハ下作延。久本ノ二村ニ及ヒ。艮ハ坂戸村ニ限レリ。東西凡二十五町南北ハ四町許。高低ノ地ニシテ。西北ハ高ク。東南ハ水田多シテ多磨川ニ續ケリ。相州矢倉澤街道村内ニ係

リ。西ノ方作延村ヨリ村境三町ヲ過テ坤ノ方梶ヶ谷村ヘ達ス。道幅四間ナリ。民家七十一軒。山ノ麓ニ散住ス。土性ハ黒ボク或ハヘナ錯リ。産物ハ柿菓土地ニ相應シテ味ヒ他ニマサレリ。村ノ開闢ハ其詳ナルコトヲ傳ヘズ。小田原家人役帳ニ。島津又次郎ガ知行五十二貫七百五十文稲毛末長トアリ。御入國ノ後程ナク。國領七郎右衛門浅井八郎右衛門松波九兵衛ニ賜ハリシト云。今モ其子孫等ノ知ル所ナリ。検地ハ三給トモニ元祿五年二月改アリシト云。

高札場　松波梶平ガ知行ノ中ニアリ。村ノ中央字松ノ木ニ建ツ。其餘ハ未ダタテス。

小名

新城前　村ノ東ノ方ヲ云。

闕免（セキメン）　艮ノ方ヲ云。

柳町　上ニ同ジ。

五明前（ゴミヤウマヘ）　是モ同邊ナリ。

鴻ノ免（コウノメン）　南ノ方ヲ云。

小高谷（コッタカヤ）　上ニ同ジ。

透毛臺（スツモタイ）　坤ノ方ヲ云。

笹ヶ原　西北ノ方ヲ云。

窪臺　乾ノ方ヲ云。

ツイヂ　村ノ北ノ方ニアリ。三段許ノ地ナリ。土人此所ヲツイヂノ御殿ノ跡ト云ノミニテ。事實ヲ傳ヘズ。

松ノ木谷　村ノ西ノ方ヲ云。

四段田　中央ヲ云。

水利

根方用水　十三ヶ村組合ノ用水ナリ。村ノ西。久地村ヨリ入南ノ方新作村ヘ通ズ。幅四尺許。

用水　艮ノ方坂戸村ヨリ入。南ノ方新作村ヘ通ズ。

神社

杉山社　村ノ南ニヨリテアリ。勧請ノ年代ヲ詳ニセズ。社二間ニ三間艮ニ向フ。神躰ハ木ノ立像長一尺許。前ニ鳥居アリ。例祭隔年九月十六日十二坐ノ神樂ヲ奏ス。社地丘上ニテ松樹アリ。村内三給ノ鎮守ニテ。明鏡寺ノ持ナリ。

伊勢宮　村ノ西。梶ヶ谷村境ニアリ。小祠東向ナリ。前ニ鳥居アリ。例祭九月十九日。杉山明神ト隔年ニアリ。村内三給ノ持ニテ。明鏡寺ノウケタマハリ

ナリ。

寺院

増福寺　村ノ西ニヨリテアリ。天台宗ニテ多磨郡深大寺村深大寺末。茂岳山観音院ト號ス。客殿六間ニ四間半。艮向ナリ。本尊阿彌陀。坐像一尺五寸ナルヲ安ス。開山開基詳ナラズ。寺内ニ了典法師ト云僧ノ墓碑アリ。元禄三年二月十八日ト刻ス。是ヨリ古キハ見エズ。サレバ中興開基ナドニテモアルベキカ。門艮向ナリ。両柱ノ間一間。前ニ少キ坂アリ。

観音堂　門ニ向テ右ノ方。小ク高キ所ニタテリ。堂ハ二間半南向ナリ。観音ハ立像ニテ長二尺餘。

八幡宮　門外右ノ方ニ小鳥居ヲ建。祠ハ客殿ノ後ロ丘上ニアリ。僅ナル造ナリ。神躰ハ丸キ石ニテ。圓径二寸五分許。石色酢荅ニ類セリ。今客殿ニ安ス。寛延元年ニ記セシ縁起一軸アリ。サレト近キ頃ノモノトイヒ。コトニ覺束ナキ事多ケレバ。悉信ズルニ足ザレドモ。シバラク其大畧ヲ下ニ記セリ。曰寛治五年正月十五日。滌

義家奥州後度ノ戦ニ利ヲ得。當國ヘ帰リ来リシ頃。タ〱長雨晴テ海水潔シ。軍卒等ト共ニ向ノ岳ヲ詠ムルニ。玉垣清ラカナルニ感ジテ。各信心ヲ動シケルニ。ヤガテ別當沙門ニ仰テ見セシメラレケルニ。奇異ノ石アリ。義家ヲ始メカノ石ニ武運ヲ祈リ。弓矢ヲ納。此里ノ民永ク榮エンヿトテ。末長邑ト號セリ。此岳ヲ八幡山放生山トモ云慣ハセリ。後北條早雲再建シ。小田原ノ方ヘノ往還ヲ開テ崇メリ。時過テ荒蕪シ。享保七年小祠ヲ建立シ上代ノ坂ヲ發キ東都

守護ノ為ニ東向ニセリト云。末ニ茂岳山観音院増福寺當住三部都太大阿闍梨権大僧都堅者法印貭典トアリ。又降農八世梅原軍書菅原時貞ト記シ。已ガ家系ヲ末ニ録シタリ。舊家ノ條ニ出ス。

明鏡寺

村ノ西ヘヨリテアリ。天台宗東叡山末ニテ。多磨郡深大寺村深大寺ノ進退ニヨレリ。松林山安樂院ト號ス。客殿八間ニ六間良向ナリ。本尊阿彌陀座像ニテ長一尺二寸許ナルヲ安ス。開山及ビ起立ノ年歴ハ詳ナラザレト。寺僧歴代ノ碑

ニ。寛永五年七月十三日慶丁法印ト刺スルモノアレバ。若クハ此人創建セシナラシカ。

十王堂　村ノ東丘上ニアリ。二間四方巽向ナリ。石ノ十王ヲ安ス。各一尺許。中央ニ地藏二尺許ナルアリ。增福寺ノ持ナリ。

阿彌陀堂　村ノ西ノ方ニアリ。三間ニ二間。南ニ向ヘリ。阿彌陀ノ坐像一尺二三寸ナルヲ安ス。是モ增福寺持ナリ。

墳墓

塚三　村ノ南西ノ境ニアリ。十四五間ヲ隔テ三ツ並ベリ。一ハ徑二間許アリ。其餘ハ四尺程ナリ。タダ古塚トノミ云傳ヘテ由来ヲ傳ヘズ。

舊家

百姓源右衛門　秋元氏ナリ。持傳ヘシ舊記モナシ。村内增福寺八幡縁起ノ末ニ。天正十八年小田原落去ノ後。先祖梅原將監菅原正賢此里ニ来リ。八代ヲ経タリトアリ。又云。正賢ガ父ヲ梅原兵庫長盛トテ。北條家ニ仕ヘシモノナリト云。其餘詳ナルコトハ傳ハラズ。

平村（タヒラ）

平村ハ。郡ノ西ニアリ。江戸日本橋ヨリ五里半ノ行程ナリ。相傳フ古葛山平殿トイヒシ人領セシユヘ。平村ト唱フトイヘリ。今名主平左衛門ガ家ニ傳フル処ハ。此平殿トヱハ。杉田藤太トイヒシモノヽコトナリト見ユ。杉田氏ハ葛原親王ノ後裔ニシテ。平姓ナリトヱ。ユヘニ平殿ト唱ヘシナルベシ。又小田原家人所領役帳ニ。當村十一貫三百五十文ハ葛山某カ知行トアリ。カタぐ由緒アルベキコトナレド

モ今ヨリ考フルニ由ナシ。御入國ノ後慶長年中。木造七左衛門後宣ニ賜ハリ。子孫世々知行セシガ。明和元年左衛門某ガ時故アリテ其家廢セラレシ後。伊奈半左衛門ガ支配トナリ。寛政年中ヨリ伊奈助右衛門預リ奉リシガ。今ハ小野田三郎右衛門信利支配セリ。村内ノ地形ハ。總テ山間ニシテ中央ノ所平地ナリ。サレド多クハ地形ニ少シノ高低アリ。土性ハ黒土赤土ノ二種ニシテ。水田少ク陸田多シ。撿地ハ元禄五年。時ノ地頭木造五郎兵衛糺セリ。又明和ノ頃新田ヲ墾セシニヨリ。同キ三年伊奈備前守忠宥改ム。此後安永五年ニモ伊奈半左衛門撿地シテ新田高入トナリシモノアリ。村ノ廣サハ。東西九町程南北ハ十一町半ニ餘レリ。村北及ビ東南ノ方ハ長尾村ニ界ヒ。乾ハ上菅生村ノ飛地ニ限リ。西ハ下菅生村ニテ。坤ヨリ南マデノ間ハ。總テ土橋村ニ接セリ。民家ハ六十四軒。南北ニ別レテ各軒ヲ連ネタリ。

高札場　字狢澤ニアリ。

小名

石崎（イシサキ）　村ノ中央ニアリ。

堀之内　村ノ南ノ端ニアリ。
天神谷　是モ南ノ端ナリ。
馬場　村ノ南ノ方ナリ。
大久保　馬場ノ東ニアリ。
狢澤　村ノ西ノ端ナリ。
別所　狢澤ノ北ナリ。
天臺　狢澤ノ東ナリ。
柳町　村ノ東ノ端ナリ。
高山　村ノ北ノ端ヨリ。乾ニヨリテアリ。
風久保　村ノ北ノ端ナリ。

竹ノ澤　是モ村ノ北ノ方ナリ。
カンエキ山　竹ノ澤ノ西ナリ。
池ノ谷　石崎ノ北ヨリ乾ニカヽレリ。

山川

谷川　西ノ方下管生村ヨリ入。村ノ中程ヲ流ル、コト九町餘ニシテ。東ノ方長尾村ニ至ル。川幅三間許。無名ノ谷川ニテ。僅ナル流レナリ。

水利

溜井　二ヶ所　一ハ村ノ西字宮脇ニアリ。一段程ノ廣サナリ。一ハ北ノ方字原ヶ谷ニアリ。是ハ三畝許。

板洗堰　村ノ中程ニアリ。コヽヨリ谷川ノ水ヲセキカケテ。水田ニ沃ク。堰ハ長三間半幅二間半。高サ四尺。村持ノ普請所ナリ。

神社

八幡宮　村ノ中央ニアリ。源榮山白旗八幡ト號ス。神供免三石餘ナリ。社傳ニ云。鎌倉ノ右大將頼朝奥州ノ泰衡ヲ征伐ノ時。此度ノ軍利アラバ。鎌倉ヨリ奥州ニテノ海道ノ中。十里ゴトニ八幡一祠ヲ建立セント誓言アリシカ。果シテ勝利ナリシカバ。建久三年ニ至リテ。ツヒニ誓ノ如ク鎌倉ヨリ奥州ニテノ間ニ。數ヶ所ノ八幡ヲ勧請セラル。當社ハ其一ナリト。此事東鑑等ニハサラニナキ事ナリ。鎌倉ノ古海道ハ。今隣村土橋村ノ内ニ其跡遺レリ。神躰ハ應神天皇ノ一座ニテ。二尺許ノ木像ナリ。村ノ總鎮守ニシテ。例祭ハ二月初ノ卯ノ日ト定ム。社前ニ於テ射術ノ式アリ。尤其形バカリナリ。本社ハ一間四方許ノ宮作リニシテ。覆屋アリ。拜殿ハ二間四方。稲毛總社八幡宮ノ七字ヲ扁ス。前ニ石階アリテ。其下ニ鳥居タテリ。神主小泉信濃ガ事ハ。村内熊野權現ノ神職ヲ兼テ。シカ

モ權現ノ傍ニ居ル故。其所ニ事實ヲ出セリ。天正十九年東照宮ノ命アリテ。御武運長久ノ御祈禱ヲナセシニヨリ。當社ヘ神供免七十石餘ノ御朱印ヲ賜ハレリ。慶長五年台德院殿關ヶ原御出陣ノ時。鈞命ニヨリテ御祈禱ノタメ。太々神樂ヲ興行セリ。御凱旋ノ後神器等御寄附アリ。同キ十九年大坂御出陣御首塗ノ時。先年ノ御吉例ヲ以。御祈禱ヲ命セラル。御凱旋ノ後モ神主伊豫ヲ召出サレテ。銀子若干ヲ賜ハル。後イツノ頃ニカ。社地田祿ノ時。御朱印鳥有トナリシカバ。是ニテ賜ハリシ七十石ノ地ハ収公セラレヌ。其後願ヒ上テ三石免ノ地ヲ除セラレシヨリ。今ニ至ルニテ先規ノ如ク御祈禱怠ラズ。

熊野社　村ノ西。字別所ニアリ。社地ハ小丘ノ上ナリ。相傳フ壽永元年草創セリト。末社ハ宮作リニテ四尺四方。拜殿ハ二間ニ三間。本社モ此内ニ安セリ。拜殿ニ稲毛總社ノ四字ヲ扁ス。前ニ石階十二級アリテ。其下ニ鳥居ヲ建。例祭ハ九月廿一日

ニテ。村内神明祠ト隔年ナリ。

末社

辨財天社　本社ニ向テ左ニアリ。

稲荷社　本社ニ向テ右ニアリ。

疱瘡神社　同ジ並ビニアリ。

神主小泉信濃　本社ニ向テ左ニ住ス。村内八幡神明天神五所稲荷等ノ神職ヲ兼務ム。先祖ハ泉三郎忠衡ヨリ出ヅ。忠衡カ子新太郎常衡。其子常忠ノ子孫小泉ヲ氏トスルモノアリト云ノミニテ。其間ノ世系ヲ失セリ。天正ノ頃小泉左京亮ト云モノヨリ。後ノ事ハ詳ニ傳ヘタリ。左京亮ハ。天正八年二月十五日没ス。其子ヲ左京亮政次ト云。政次ガ嫡男出雲勝重ハ。同キ十五年ニ荏原郡品川稲荷社神主宇田川出雲勝定ガ養子トナレリ。政次ハ同年二月四日没セレニヨリ。次男伊豫守政安家業ヲツギタリ。此人ノ時

東照宮及ビ

台徳院殿ヨリシバシバ賜物アリシコトハ。已ニ前ニ見エタリ。今ノ信濃ハ。其子孫ナリ。近村神

主ノ少キユヘ。何レノ村ニテモ祭事アルゴトニ。必信濃ニ記シテ。今ノ俗ニ用ユル処ノ十二座。及ビ五座等ノ神樂ヲ行ヘリ。

神明社　村ノ南。字堀ノ内ニアリ。僅ナル祠ナリ。相傳フ文明六年ノ草創ナリト。サレド證トスベキコトナケレバ。定カナル事ヲ知ラズ。例祭ハ九月廿一日ニテ。村内熊野ノ社ト隔年ニ行ヘリ。

天神社　村ノ南。天神谷ニアリ。正治二年ノ鎮座ナリト云傳フ。是モ定カナル事ヲ知ラズ。例祭ハ年年十月二十五日ナリ。

五所社　八幡宮ノ坤ニアリ。山上ニ建リ。上ルコト一町許ナリ。是モ小祠ニテ。南向ナリ。天文十八年ノ建立ナリト云。祭神ハ詳ナラズ。例祭年々六月二十日ナリ。

稲荷社　村ノ巽ニアリ。永禄四年ノ鎮座ナリト云。僅ナル祠ナリ。

寺院

東泉寺　村ノ東。字堰下ニアリ。此寺近キ頃ニデハ今ノ所ヨリハ。南ノ方ニアリシト云。其跡今モ當寺ノ墓所トナリテアリ。モトヨリ除地ナレドモ

坪數モ詳ナラズ。其地ノ字ヲセガキ田ト云。曹洞宗ニテ郡中下作延村圓福寺ノ末。泰平山ト號ス。開山最安慶初。天正十二年九月二十七日示寂。開基ハ一翁全閑居士。清室昧寒大姉ノ二人ナリ。其位牌ノ傍ニ記シテ葛山平トアリ。是ソノカミノ地頭ナリト云。北條家人所領役帳ニ載タル葛山某カ夫婦ノ法名ナドニヤ。詳ナル傳ヘモナシ。猶墳墓ノ処合セ見ルベシ。客殿八間半ニ五間半餘。前ニ石階アリ。二間許。本尊聖觀音ノ坐像ニテ長五寸。門ハ両柱ノ間九尺。控作リナリ。

寺寶

般若地藏像　一軀

銅像ナリ。寶暦年中大般若經轉讀ノ折モ。境内ヨリ堀出セシユヘ。此號ヲ得タリト。長六寸許ノ立像ナリ。

古碑二基墓所ニアリ。二基トモニ青石ノ板碑ナリ。一ハ文明十三年月待ノ供養塔ナリ。一ハ正實禪門三月十六日トアリテ。年代ヲ記サズ。

觀音寺村ノ南ニヨリテアリ。曹洞宗ニテ東泉寺ノ末寺ナリ。慈光山ト號ス。開山ハ圭州祖巖。元

元年十月十三日示寂。本尊ハ聖観音。坐像ニシテ長四寸。客殿四間半。巽向ナリ。

薬師堂 村ノ西。名主平左衛門ガ屋敷地ノ内ニテ。即同人ノ持ナリ。大サ三間四方。薬師堂ノ三字ヲ扁ス。本尊薬師如来ハ。坐像ニシテ長八寸。

墳墓

葛山某墓 字柳町ニアリ。シルシニイボタノ木ヲ植ユ。古ノ地頭ノ墓ナリト云。小田原家人所領役帳ニイヘル。葛山某ナルベシ。猶舊家ノ條并セ見ルベシ。

舊家

百姓平左衛門 氏ヲ山田トイヘリ。今村ノ名主ナリ。カレハ小田原北條家ノ浪人片山彌兵衛ガ子孫ナリトテ。家系一巻ヲ藏ス。其文ニヨレバ。片山氏モカノ葛山カ一族ノ如ク見ユ。今其大畧ヲ摘ミテ下文ニシルセリ。昔稲毛領平村ノ住人ニ杉田藤太ト云人アリ。モトヤンゴトナキ人ナリシカ。如何ナルユヘニヤ。洛中ヲ追レテ関東ヘ下リ。初メ鎌倉鶴ガ岡ノ邊杉田ト云処ニ住シ。在名ヲモテ杉田ト號シケル。其頃鎌倉将軍家ノ世トナ

レユヘ。武家ヲサケユカリニ付テ當所ニ来リ住セシカ。農民ノワザモ又モノイトハレケレバ。止ム事ヲ得ズ武家ニ仕ヘテ。僅ニ此平村一郷ヲ宛行ハレケリ。ソレガ子孫ニ至リ。諸國乱レテシバ〻兵革ノ事アリケル。然ルニ駿州ノ今川家ニ。北條新九郎ト云人アリ。本國ハ勢州ノモノニテ。北畠ノ浪人ナリトイヘリ。此人武道ニ勝レタリシカバ。相州小田原ヘ下シテ。武相二州ヲ今川ヨリ預ケラレシニヨリ。其頃モ藤太ガ子孫ヲ土人葛山平殿トテ。仰キ尊ビケルガ。僅ノ地ナレバ獨立シカタリ。ヤガテ小田原ヘ仕ヘケル。然ルニカノ北條家ハ。四代ノ其間。関東ニ武威ヲ振ヒシガ。左京太夫氏直ニ至リ。天正十八年小田原落城ノ時。杉田氏モ討死シテ所領ヲ失ヘリ。其時カノ廃流ナリシ片山彌兵衛ト云モノアリ。モト當所ノ名主ニテ。小田原分國ノ頃村ノ長ヲツトメ。其身ハイヤシケレド。武勇ノ聞エアリシカバ。其頃ノ戦記ニモ名ヲ顕セシモノナリ。落城ノ時モ彌兵衛ハ其子圖書ト同クシバ〻奮戦シ。カラウシテ死ヲ免レ逭レ歸リケル。按ニ北條五代記。總州國府

臺合戰ノ條ニ云。天文七年十月七日巳ノ刻ニ至リテ合戰始マル。片山彌兵衛前登ニスヽミ首ヲウチ取処ニ。味方大藤左京亮弓手ヲハセ通ル。幸ト甲ノ袖ニトリ付。片山彌兵衛一番首ノ證人ヨト云シトアリ。此時ヨリ小田原落城ニテ五十餘年ニ及ベバ。彌兵衛已ニ極老ノ年ニ至リシナルベシ。年代疑フベシ。カクテ平殿ガ二人ノ女子ヲ養育シケルニ。成人ノ後下菅生ノ内藏敷ト云所ノ名主長左衛門ト云モノニ嫁シケル。イマ一人ノ女モ山田久、左衛門トテ。故アルモノヽ弟平左衛門ト云モノヲ迎ヘ。カレヲムコトナシ。是ニ妻セ已ガ跡ヲ譲レリ。カノ彌兵衛ハ片山氏ニテ。久左衛門ハ山田氏ナレバ。シバシガ間其両氏ヲ合セテ片山田ト名乘ケルガ。後ハ又山田氏ニカヘレリト云。此平左衛門後ニ薙髪シテ昴運ト號ス。寛文二年三月廿六日百歳ニテ沒セリ。今ノ平左衛門ハ其子孫ナリ。コヽニ又平殿ノ伯父ニ桂原新左衛門ト云人アリシガ。猪澤ノ邉ニ山居セリ。文祿ノ頃沒セリ。其葬処ヲ新左衛門塚ト云。圖書ハ實子某ヲ率テ下菅生ノ内下長澤ニ移リ。地頭

ヲ買テ相續セシメタリ。平殿ノ系圖ハ長女十四バトテ。藏敷ノ方へ持行シカバ。カノ長左衛門ガ家ニ藏セリ。其子ノ内ニ出家セシモノアリテ。多磨郡北見ノ慶元寺へ住職ノ項。カノ平殿ノ系圖ハ俗家ニ收ルモ憚リアリトテ。慶元寺へ納メケルガ。後田祿ニ逢テ失セリトゾ。今平左衛門ガ傳フル所ハ。先祖昂運ガ曾孫女ノ長壽ニテ尼ト十リ。近キ項マデモ世ニアリシカバ。其覺エシコト。ドモヲ記セシモノナリトイヘバ。實ヲ傳ヘシ事モアルベケレド。年代ノ差ヒタル事多クシテ。疑フベキ事少カラズ。

土橋村

土橋村ハ。昔ハ平村ノ内ナリシカ。後ニ分村セシム。天正後ノ事ナランＴ土人イヘリ。サレド長尾村ノ農家ニ。天正十八年ノ制札アリ。其文ニ作延郷長尾村平土橋村以上三ヶ所ト記セリ。此頃已ニ土橋トヱ地名ハアリシナレド。イニダ平村ノ内ニ属セシ事知ラル。此土橋ト云地名ノ起リシヲ尋ルニ。村民ノ傳ヘニヨレバ。古ハ太田トイヒシカ。其頃ハ鎌倉街道此地ヘ係リシニヨリ。右大將頼朝此地ヲ過給ヒ

シ時。新ニ土橋ヲ架セシメシコトアリト。實ナリヤ。今モ此橋僅ニ其跡ヲ存セリ。此故ニ太田ヲ改メテ土橋ト號セリト云。サレド今モ太田庄ト號セリ。又小名ニモ太田ト云所アリ。是古名ノ名残ナリトイヘリ。其地ハ中原海道ニ傍シ所ニシテ。江戸日本橋ヨリ六里ノ行程ナリ。家數三十九軒。村内ニ散住セリ。村ノ四境。東ハ馬絹村ニテ。中原街道ヲ界トス。南ハ有馬村ニ隣リ。西ハ下管生村ニ境ヒ。北ハ平村ニ續キ。東北ノ隅ハ長尾村ニ接セリ。東西十二町南北十町アリ。押ナベテ村ノ中央ヨリ東ノ方馬絹村ノ地ニ寄カヽリテ細キ平地ナリ。水田ハ其邊ニ開ケリ。サレド用水便アシケレバ。水田ハ僅ニシテ陸田多シ。土性ハ野土黒土ナリ。又村ノ東北ニ秣場アリ。是ハ字ヲ大野原ト號シテ。西給入會ノ所ナリ。當村ハ御入國ノ後程ナク長坂血鑓九郎戸田六郎右衛門ノ二人ニ賜ハリシヨリ。今ニ至ルマデ子孫相續シテ知行セリ。撿地ハ長坂ガ知行ノ方ハ寛文九年ニテ。戸田ノ方ハ萬治三年三月ナリ。何レモ地頭ノ改メナリ。

高札場　小名太田前ニアリ。

小名

大野原(オホノハラ) 村ノ北ヨリ東ニ係リシ地ナリ。

牢場谷(ラウバヤツ) 村ノ西ナリ。

太田前(オホタマヘ) 村ノ中程ナリ。

持田谷(モチタヤツ) 東北ノ隅ナリ。

原臺(ハラダイ) 南ノ端ナリ。

西臺(ニシダイ) 村ノ坤ノ方ナリ。

橋梁

土橋 字太田前ニアリ。僅ナル溝ニ架セリ。長一間幅四尺アリ。初メニモ云如ク。相傳フ此橋ハ右大將賴朝ノ架セシメラレシト。其頃ハ此流レモサマデセマカラザリシユヘ。ゴトサラニ橋ヲモ作ラレシガ。今ハ川幅狭ニテ僅ニカタバカリノ橋ヲ存セリ。サレド村名ノ起ル所ナレバコヽニ記セリ。

神社

太神宮 村ノ北ニテ。字大野原ト村境ノ山間ニアリ。ソレヨリ二町許ヲ下リテ木ノ鳥居ヲ建。村ノ鎮守ナリ。例祭ハ年々八月十五日ニテ。平村ノ神主小泉信濃来リ祭事ヲ司ル。正福寺持。

御嶽社　村西。字牢塲谷ノ丘上ニアリ。稲荷ヲ相殿トス。木ノ鳥居ヲ建。村内正福寺持。

御嶽社　同所ニテ正福寺ノ西ニ並ビテアリ。是モ正福寺持。

八幡宮　村ノ東。馬絹村ノ境ニアリ。鳥居ヨリ社ニデ一町餘ノ坂ナリ。此道半ハ當村ノ地ニテ。半ハ馬絹村ノ内ナリ。土人是ヲ片大門ト號ス。八幡ノ社二社タテリ。一社ハ馬絹村ノ持ニテ。一社ハ當村ノ内長坂血鑓九郎ガ知行ニ属セリ。是ハ社地一畝免除地ナリ。例祭ハ九月十二日。百姓持。

稲荷社　村ノ中央ニアリ。僅ナル祠ナリ。前ニ木ノ鳥居ヲタツ。正福寺持。

神明社　村ノ南ニアリ。僅ナル祠ナリ。

稲荷社　同邉ニアリ。是モ小祠ナリ。

三島社　字持田谷ニアリ。是モ小祠ナリ。

天神社　字原臺ニアリ。小丘ノ上ニ僅ナル祠ヲ建。是モ小祠ナリ。

荒神社　村ノ中央小丘ノ上ニアリ。小ナル祠ニテ南向ナリ

第六天社　村ノ南ニアリ。小祠ナリ。

大野稲荷社　字持田谷ニアリ。南向ナリ。以上七社共ニ百姓持。

寺院

正福寺　字太田前ニアリ。天台宗多磨郡深大寺村深大寺末。醫王山法徳院ト號ス。客殿六間四方南向ナリ。本尊ハ藥師ノ立像ニテ長二尺許。今ハイト衰ヘユキテ。定マレル住僧モアラザレバ。開山ノ年代等モ尋ヌルニヨシナシ。

觀音堂　村ノ乾ニアリ。二間四方ノ堂ナリ。本尊ハ立身ノ木像ニテ。長一尺五寸。百姓持。

地蔵堂　字西臺ニアリ。二間四方ノ堂ニテ東向ナリ。本尊ハ木ノ坐像ニテ。長一尺四五寸アリ。百姓持。

古跡

鞍掛松　村ノ西南ノ隅ニアリ。相傳フ右大将頼朝鎌倉ヨリ此地ヲ經歷ノ時。乘鞍ヲ此松ノ枝ヘ掛ケラレシト。又ノ傳ヘニ。北條氏ノ家人横山監物ガ出陣ノ時。鞍ヲ掛レトモイヘリ。今ハ枯木トナリテ纔ニ根バカリヲ存セリ。圍徑九尺許。元禄四年ノ村圖ニハ。エンザ松トアリ。イカサマニモエヘ

アル松ト見ユ。此所鎌倉古海道ノ名残トテ。道幅一間許ヨリ二尺程ニ至レリ。

茶筅松　村ノ南。字サキ沼臺ニアリ。大サ二圍餘。相傳フ頼朝此松ノ葉ヲ以テ茶筅ニ用ヒ。其用ハテテ後此所ヘ棄ラレシガ。根生ヒテ大木トナリシトイヘリ。ウケガタキ説ナリ。

陣屋跡　村ノ東北ノ隅ニアリ。今ハ陸田トナレリ。地頭長坂血鑓九郎ガ昔ノ陣屋跡ナランカト土人イヘリ。

○馬絹村

馬絹村ハ。土橋村ノ東ニ續ケリ。御料ノ地又川勝主税遠山政之助ノ二給アリ。江戸日本橋ヨリ五里ニ餘レリ。郷庄ノ唱ハイハズ。當村。東ハ梶谷村ヨリ末長村ニ接シ。西ハ即土橋村ニテ。乾ノ方ハ長尾村ナリ。南ハ有馬野川ノ両村ニ續キ。北ハ上下作延ノ二村ニ隣レリ。東西ヘ凡十町餘南北モ十町ニ過ズ。家數九十軒。艮ノ方ニ一條ノ道アリ。相州矢倉澤街道ナリ。下作延村ヨリ入村内ニ係ルコト長凡八町許

ニシテ。有馬村ニ達ス。總テ田多クシテ畑少シ。土性平地ノ方ハ黒土ニテ。山ヨリハ赤土交レリ。御料ノ方ハ元禄十年織田越前守検地ス。御代官ノ遷替モ前村ニ同ク。今大貫次右衛門支配セリ。
高札場字長坂ノ下ニアリ。

小名

長坂　東ノ方ニ長サ三町許ノ坂アリ。其邊ヲ云。

宮ノ前　東ノ方ナリ。

笹ヶ原　村ノ北ノ方ナリ。

下神戸　是モ同ク北ナリ。

上神戸　村ノ乾ノ方ナリ。

千駄丸　同ク乾ノ方ナリ。

矢尻　南ノ方ヲ云。

矢中耕地　巽ノ方ヲ總テ云。

梅ノ木　村ノ中央ナリ。

鑓ヶ崎　艮ノ方ヲ總テイヘリ。

田澤　坤ノ方ナリ。

水利

用水　西ノ方土橋ヨリ来リ村内凡長三百間許ヲ

経テ。東ノ方梶ヶ谷村ニ入。幅七尺許ナリ。

溜井 四ヶ所。村内所々ニアリ。何レモ僅ナル溜井ナリ。

神社

女體權現社 村ノ東ノ方ニアリ。垂迹ハ伊弉諾尊トモ。又ハ伊勢太神宮ナリトモ云テ。定カナラズト云。本地ハ阿彌陀ナリ。神躰ハ長八寸許。左手ニ巻物ヲ持。右手ニ笏ヲ持テ。裝束シタル立像ナリ。
按ニ昔伊勢太神宮遥拜ノ為ニ此社ヲ建シニヤ。字ニ神戸ナドヽ云所アレバ。此邉ハ其神領ナリシト思ハル。本社ハ僅ナル祠ニテ。拜殿三間ニ二間。村ノ總鎮守ニシテ。例祭年々九月廿二日ナリ。社前ニ石ノ鳥居ヲ立。柱間八尺。泉福寺持。

末社

神明社 本社ニ向テ左ノ後ニアリ。

秋葉社 本社ノ右ノ方。丘上ニアリ。

熊野社 村ノ艮ノ方ニアリ。例祭ハ十月廿一日。村内三島明神ト隔年ナリ。泉福寺持。

三島社 村ノ中央ニアリ。是モ泉福寺持。

八幡社 村ノ西ノ方土橋ト入會ニアリ。川勝主税

カ采地ニ屬セリ。前ニイヘル如ク二社ノ地域混ジテアリ。當村ノ地三畝地頭ノ免除ナリ。社前ニ拜殿アリ。一間半ニ二間。南ニ向フ。例祭九月十二日。村民ノ持ナリ。

稲荷社 村ノ中央ノ丘上ニアリ。遠山政之助ガ采地ニシテ。社一間半ニ二間。村民ノ持。

寺院

泉福寺 村ノ中央ニアリ。平榮山ト號ス。天台宗ニテ。多磨郡深大寺村深大寺ノ末ナリ。開基ヲ義天法印トス。其寂年ヲ傳ヘズ。本尊不動ハ長一尺五寸ノ立像ナリ。客殿七間半ニ五間半。

觀音堂 村ノ西ノ境。字小臺坂ニアリ。三間ニ三間半西向。正觀音立像一尺四五寸ナルヲ安ス。近キ頃稲毛領ノ内ニ西國三十三所ノ觀音ノ札所ヲ擬セシモノアリ。此堂モ其一ナリ。

有間村

有間村ハ。馬絹村ノ南ナリ。江戸日本橋ヲ距ルコト六里餘。古ハ稲毛庄ニ属セシガ。今ハ郷庄共ニ唱ヲ失フト云。按ズルニ小田原役帳ニ。有馬ノ地名ニ小机ト旁標ス。サレバ小机ハ。郷名カ庄名カ。何レニモ當村當時其下ニ属セシコト知ベシ。又村名ノ字。古ハ有間。中頃有馬ニ換ヘ。今又古ニ復スト云。今按ズルニ隣村ニ馬絹アリ。役帳當村ヲ有馬ト記ス。當所乗馬ノ縁アリテ起リシ地名ナルモ知ベカラズ。且

後世モ或ハ間ニ作リ。或ハ馬ニ作リ。参差トシテ一ナラザル時ハ。馬ニ作ルヲ得タリトセシカ。然レトモ今間字ヲ用ユレハ。姑有間ニ從ヘリ。東ハ上下野川ノ両村ニ錯リ。南ハ都筑郡山田牛久保ノ両村ニシテ。西ハ同郡石川村及ビ當郡下菅生村ニ續キ。北ハ馬絹土橋ノ二村ナリ。東西ヘ二町餘南北ヘ五町ニ餘レリ。又村内ニ一條ノ街道アリ。相州矢倉澤道ニテ。村ノ北馬絹村ヨリ。村内八町餘ヲ經テ南ノ方都筑郡牛久保村ニ貫キ。道幅四間許アリ。民家ハ總テ九十六軒。東西ニ散住セリ。村内總テ高低ノ地ニシテ。土性赤土黒土砂交リナリ。泥田陸田及ビ丘山等ガナリ。此村ハ泥田深クシテ苗代ヲ用ヒス。水田ゴトニ種ヲ播キテ耕ス。農耕ノ隙ニ。薪ヲトリ炭ヲヤキテ。都下ヘ鬻クコトヲ餘業トセリ。當村古キ事傳ハラズ。永禄ノ頃ハ北條家人窪田又五郎ガ知行十貫六百十八文ト役帳ニ記セリ。　御入國ノ後遠山政之助曾根主税ニ賜ハリシ年代ヲ傳ヘザレド。正保ノモノニ。遠山七郎左衛門曾根半兵衛知行ノヨシ載タレハ。其頃ヨリノ采地ナル事ハ知ラル。此餘新田アリ。御料所ニシテ民家ナク。私領持添ノ地

ナリ。今ハ小野田三郎右衛門支配セリ。撿地セシ人ハ里人ノ傳ヘニ竹川監物ナド云テ。年月モ詳ナラズ。古田ハ延寶六年地頭ヨリ改ノシ事モアリシト。新田ハ延享二年神尾若狹守糺シテ稅務ヲ沙汰セリ。

高札場　二ヶ所。一ハ村ノ中程神明社ノ前ニアリ。遠山政之助ノ持ナリ。一ハ是モ村ノ中程ニアリテ。曽根主稅ノ采地ナリ。

小名

前野　村ノ北ノ方ニアリ。

島田谷　是モ北ノ方ニアリ。

大塚　村ノ南ヨリニアリ。

影取　是モ南ニアリ。

道城谷　是モ前ニ同ジ。

金クソ谷　村ノ西ヨリニアリ。

鷺沼　是モ前ニ同ジ。

高山　是ハ鷺沼ノ邉ニアリ。

狢谷　是モ西ニアリ。

城山　村ノ北ニアリ。城跡ナリトイヘド。何人ノ住ヒシト云事ヲ傳ヘズ。又別ニ

芳フベキナシ。恐ラクハ北條家人窪田又五郎ガ此所ヲ領セシコト初ニ載ルガ如クナレバ。彼ガ屋敷ナドアリシ跡ニヤ。丘上ニシテ凡一町許。今ハ両給入會ノ地ナリ。サレド曽根主税ノ采地ノ方多シ。

下屋敷　村ノ南ニアリ。遠山政之助某ノ給地ノ内ナリ。御入國ノ頃地頭住セシ所ナリトイヘリ。今ノ遠山政之助ノ祖ノ住居セシ地ナルニヤ。詳ナラズ。

水利

用水　村内山丘ノ谷間ヨリ涌出ル僅ノ清水ヲ以テ水田ニ沃ク。此用水常ニ不足ナレバ。旱損ノ患多シ。古ハ村内ニ溜井二ヶ所アリト。一ハ字鷺沼ニアリテ一段許ノ地ナリ。一ハ字影取ニアリテ八畝許ノ溜井ナリシニ。二ツトモ近コロ廢シテ今ハ芝地トナレリ。

神社

神明社　村ノ東丘上ニシテ。遠山政之助ノ采地ノ内ナリ。同人給地中ノ鎮守ナリ。社八尺ニ四間ア

リテ拝殿ニ續ケリ。拝殿ハ四間ニ二間半。前ニ木ノ鳥居三基ヲ建。ソレヨリ石階四壇アリ。例祭六月廿一日。九月七日ノ両日ニシテ。平村ヨリ社人来リテ興行セリ。村内ノ總持ナリ。

神明社　村ノ西。丘上ニアリ。曽根主税ガ采地ノ内ニシテ。其所ノ鎮守ナリ。社三間ニ二間ナリ。前ニ鳥居ヲ建リ。例祭八月廿四日。杉山社ト隔年ナリ。

杉山社　是モ西ノ方丘上ニテ。曽根主税ガ采地ノ鎮守ナリ。本社九尺四方。拝殿三間ニ二間。前ニ僅ナル鳥居アリ。例祭ハ前ノ神明社ト隔年ニ執行ス。末長村明鏡寺持ナリ。

寺院

長善寺　村ノ東ノ方遠山政之助ガ采地ナリ。浄土真宗東本願寺末。有間山ト號ス。當寺昔ハ浄土宗ナリシガ。住職轉蓮社真譽安立ノ時改宗アリテ。今ノ宗旨トナレリ。此僧ハ天正十九年七月十三日寂セリ。浄土門ノ頃ノ開基等ハ傳ヘズ。本尊彌陀ノ立像二尺餘。裏ニ元禄八年二月廿一日再興セシヨシヲ記ス。客殿八間半ニ六間半。東向ナリ。

福王寺　村ノ中央ニアリ。臨濟宗鎌倉圓覺寺末。壽榮山ト號ス。開山ハ雪□慶長七年三月三日寂ス相傳フ。當寺ハ昔圓覺寺塔中ニ福王寺トイヘルアリシガ。廢寺トナリシヲ官ヘ願ヒ。當所ニ再立シテ寺號トセシト。何レノ頃ニヤ年代モ傳ヘザレド。開山ヲ以テイハヾ。天正慶長頃ノ事ナルベシ。本尊十一面觀音。立像一尺許ナルヲ安ス。客殿四間四方アリ。又境内ニ古碑アマタアレバ。古クヨリノ葬地ナリシニヤ。建武二年。建武四年丁丑十二月十六日。（建武四年トアレドモ建武ハ三年ニシテ延元ト改元ス。）貞治四年六月。永享十三年。文明十六年十月等ノ古碑アリ。此餘斷碑アマタアレド。文字磨滅シテ見エズ。

吾妻權現社　容殿ニ向テ左ノ方ニアリ。前ニ鳥居ヲタツ。

不動堂　村ノ東ノ方丘上ニアリ。不動立像長一尺許ナルヲ安セリ。堂二間四方。南向ナリ。堂ノ前ヨリ丘ノ下ヘハ四丈許ノ斷岸ニシテ瀧アリ。サレド水勢イト細シ。下ニ瀧壺アリテ。村民祈念スル時ノ垢離場トナセリ。

西明寺跡　不動堂ノ森ノ後ニアリ。郡中小杉村西明寺ハ此所ヨリ移レリト云。

塚

大塚村ノ東ニアリ。ヨホド高キ塚ナリ。土人モ何人ノ塚ナルコトヲ傳ヘズ。又古ノ一里塚ナリトモイヘリ。ソレヲイカニト云ニ。此所ヨリ馬絹村ノ方ヘ古道アリテ。此塚其路傍ニアタリシト云。サレド其慥ナルコトヲ知ラズ。

梶ヶ谷村

梶ヶ谷村ハ。馬絹村ノ東ニアリ。江戸日本橋ヨリ行程六里餘。村ノ四境。東南ノ方ハ上野川村ニ界ヒ。西ハ馬絹村ニ隣リ。北ハ末長新作ノ二村ニ續ケリ。村ノ廣サ。凡東西ヘ七町南北ヘ十二町ニ餘レリ。家數四十軒。村内谷多ク。土性黒土砂交レリ。田多クシテ泥土深ク。畑少シ。當村ハ昔御料私領打交リ。私領ノ方ハ。正保ノ頃蜂屋源右衛門ガ知ル所ナリシカ。其後故アリテ元祿十一年采地ヲ収公セラレタリト云。

是ヨリ一村全ク御料トナレリ。初メ元禄十年織田越前守検地ス。其後新田ノ検地ハ寶暦二年神尾若狭守松浦河内守等ナリ。御代官モ前村ニ同クシテ。今ハ小野田三郎右衛門支配セリ。

高札場 村ノ中央ヨリ少ク東ニヨレリ。

小名

矢中耕地 南ノ方ニアリ。

中島耕地 是モ同邊ヲ云。

寺前耕地 村ノ巽ノ方ニアリ。

屋敷前耕地 同シ邊ヲ云。

宮前耕地 西ノ方ヲイヘリ。

清水谷耕地 村ノ北ノ方ニヨリテアリ。

山川

林二ヶ所 何レモ御林ニテ。西ノ方ニアリ。一ハ五段許。一ハ三畝許ナリ。

明地坂 村ノ中央ニアリ。登ルコト凡一町アマリノ小径ナリ。

水利

溜井 村ノ北。字池ノ谷ニアリ。六段二畝十五歩。

神社

子神社　村ノ東丘上ニアリ。例祭隔年九月十四日ナリ。村ノ鎮守ニシテ。西福寺ノ持ナリ。

末社

牛頭天王社　本社ニ向テ左ニアリ。

神明社　村ノ西ノ方ニアリ。例祭九月十四日。是モ西福寺持。

末社

三峯社　本社ニ向テ左ノ方ニアリ。

秋葉社　是モ同ジ並ニアリ。

寺院

西福寺　村ノ東ニアリ。天台宗多磨郡深大寺村深大寺門徒ナリ。光永山壽明院ト號ス。開山ヲ傳ヘサレト。歴代住僧ノ内ニ。秀榮法師文禄二年二月廿日寂ストイヘバ。古キ寺ナルコト知ベシ。本尊彌陀ノ坐像ニシテ一尺餘。客殿七間ニ五間巽ニ向フ。境内ニ傍テ松林アリ。總テ三段七畝十歩ノ見捨地ナリ。

阿彌陀堂　村ノ東ノ方ニアリ。三間ニ二間。本尊ハ一尺許ノ立像ナリ。西福寺ノ持。

塚

塚二ヶ所一ハ北ノ方ニアリ。西福寺ノ持。四畝二十
四歩許ノ處ナリ。又一モ同邊ニアリ。タゞ塚トノ
ミ云テ其ユヘヲ傳ヘズ。

方貝塚村ノ北ノ方ニアリ。五間四方許ノ地ナリ。
是モ其ユヘヲ知ラズ。

上野川村（カミノガハ）下野川村（シモノガハ）

野川村ハ。郡ノ西ニヨリテアリ。今ハ上下ノ二村ニ
別テドモ。元一村ナレバ。其地犬牙シテ別チガタシ。
江戸日本橋ヨリ行程五里餘。布施家譜ニハ稲毛庄
野川トアリ。小田原家人所領役帳ニ。小机ノ内ニ屬
セシ由ヲ記ス。然ルニ今ハ小机庄ノ唱ヲ失セリ。又
云布施彈正左衞門康則カ知行十五貫三百文ハ野
川地頭方トアリ。其餘十六貫三百三文ハ。後藤惣次

郡ガ知行ニシテ。元ハ太田新六郎康資ガ知行トアリ。今上野川ノ方ハ家数六十五軒ニシテ。コレハ台徳院殿ノ御霊屋料及増上寺領ナリ。此内御霊屋料ノ方ハ昔ハ戸田久助ガ知行ナリシガ。其地ヲ替賜ハリテ今ノ如クナレリ。下野川ノ方ハ。家数六十四軒。是ハ影向寺領ト大岡雲八ガ知行所ナリ。村ノ四境。東ハ清澤村ニテ。西ハ有馬村ナリ。南ハ久末村及ビ都筑郡山田村ニ隣レリ。北ハ馬絹梶ヶ谷新作ノ三村ニ接ス。東西三十三町許南北十町程。土性ハ黒ボクニテ。水田陸田相半セリ。此餘秣場アリシヲ。新墾セシモノ石高四十石餘ニシテ。陸田ナリ。是ハ御代官所ニシテ。小野田三郎右衛門カ預リ奉ル所ナリ。検地ハ慶安二年ナリトノミ云傳ヘテ。其詳ナルコトヲ知ラズ。當所ノ傳ヘニ。文禄年中ノ水帳アリシヲ。イツノ頃カ遺失セシト云トキハ。文禄年中ニモ検地アリシナルベシ。

高札場　總テ三ヶ所アリ。一ハ南ノ方字龍場谷ノ前ニアリ。是大岡雲八ガ采地ニ属セリ。一ハ字天屋坂前ニアリ。是モ南ノ方ナリ。増上寺領ノ高札ナリ。一ハ北ノ方ノ山下ニアリ。是ハ御料所ノ内ナ

り。

小名

耳キレ谷　村ノ中央ナリ。

兒ヶ谷　村ノ東ノ方ナリ。

天屋　南ノ方ナリ。

籠場谷　同邊ナリ。

天神谷　中央ノ方ニテ。新田ノ中ナリ。

法螺ノ貝谷　中央ノ方ニテ。新田ノ中ナリ。

池ノ谷　中程ナリ。

十三枚臺　中程ナリ。又十三菩提トモ十三塚トモ呼リ。古ハ古塚十三アリシト云。今ハ其狀ノミ殘レリ。中古此所ヨリ甲冑ノ朽シモノヲ堀出セシト云。

山川

矢上川　村ノ北方。梶ヶ谷村ヨリ入テ南ノ方久末村ヘ達ス。村内ヲ延亘スルコト十四五町許ナリ。

神社

韋駄天社　村ノ艮ノ方ニアリ。上野川ノ内ナリ。内陣二間半四方。拜殿四間ニ三間。南向ナリ。前ニ木ノ鳥居ヲ建。總村ノ鎮守ニテ。例祭ハ年々九月二

十三日。神供免畑一町餘。見捨地アリ。鎮座ノ年代ヲ傳ヘズ。上野川西藏寺持。

子ノ神社　村ノ西境。新田ノ間ニアリ。前ニ鳥居ヲ建。神躰ハ石像ニテ長一尺許。例祭ハ十月四日ニテ。神明ト隔年ナリ。西藏寺持。

神明宮　村ノ東ノ方。字領家谷ニアリ。又此地ヲ一ニ影向寺臺トモ呼ベリ。前ニ木ノ鳥居ヲタツ。例祭ハ前ニ辨ジタル如ク。子ノ神ト隔年ニ行ハル。是モ西藏寺持。

第六天社　上野川ノ内ニテ。村ノ東方ニヨリテアリ。僅ナル祠ナリ。

寺院

影向寺　村ノ艮ノ方ニアリ。當寺アルヲモテ字ヲモ影向寺臺ト呼ベリ。境内ハ即寺領五石ノ内。ナリ。抑當寺ハ。行基菩薩開闢ノ古刹ニシテ。醫徳山月光院ト號セリ。天台宗多磨郡府中領深大寺ノ末山ナリ。古ハ榮興寺ト書シヲ。後養光寺ト改メタリ。然ルニ万治年中囘禄ノ時。本尊。堂前ノ石上ニトヽマリテヨリ。今ノ如ク影向寺ニ書改メシト云。本堂八間四面南向ナリ。本尊行基菩薩ノ作

ル所ノ薬師ノ像ハ。今頭バカリヲ存ス。再興ノ本
尊ハ長五尺許ノ坐像ナリ。是ハ慈覺大師ノ作ト
云。日光月光ノ二立像。長各五尺五寸。是モ慈覺大
師ノ作ナリト。縁起ノ畧ニ云。當寺ハ
聖武天皇ノ御願ニヨリテ。行基菩薩開基セリ。其
由来ヲ尋ルニ。天平十一年九月十二日ノ頃ヨリ。
皇后俄ニ御悩アリテ。種々ノ御祈ヲ命セラルト
イヘトモ。其驗ナカリシニヨリ。帝モ御心ニ薬
師如来ニ御祈願アリ。明年二月十二日ノ夜御夢
ノ告アリ此[illegible]ハ。ヤガテ四月八日此地ニ勅使

ヲ立ラレケレニ。果シテ霊石アリケレハ。帝御
心ニタノミ給ヒ。御祈願アリシニ。果シテ皇后ノ
御悩御平愈マシマセシニヨリ。コヽニ於テ當所
ニ伽藍ヲ御建立アリテ。薬師佛ヲ彫刻セシメラ
レテ供養アリケル。頓テ寺領トシテ橘樹郡ヲ残
ラス御寄附アリテ。伽藍堂宇ツヒニ天平十二年
十一月ニ功竣リシカハ。開山行基勅使ト共ニ歸
洛セリ。遂ノ後
清和天皇ノマダ皇子ニテマシ〱ケル時。惟高親
王ト帝位ヲ争ヒ給ヒケル時。慈覺大師ノ夢想ニ

ヨリテ當所ヘ御祈願アリテ。御望ミ空シカラザリシカバ。天安元年勅使下向アリ。又大師ニ命シテ藥師佛一軀ヲ彫刻セシメ給ヒ。明ル戊寅ノ秋。七堂伽藍ノ御再建落成シテ。頗觀美ヲナセリ。ココニ於テ醫王山ヲ改テ威德山トス。コヽニ又慈覺大師彫刻ノ藥師ヲ。同キ八月當寺ヘ安置セシメントシテ。駿河國青島ノ里ニ一宿ス。其夜カノ本尊忽失セテ見エズ。盜賊ナドノシワザニヤト思ヒシニ。サハナクシテ當山靈石ノ上ニ現シ給フ。コヽニ於テ諸人ノ渇仰大方ナラズ。靈石ヲ名付テ影向石トイヒ。寺ヲモ影向寺ト改メタリ。叡感ノ餘リ元ノ如ク橘樹一郡ヲ寺領トシ。其餘江州蒲生郡ヲ御寄附アリシト云。故ニ當山ハ聖武　文德　清和三代ノ勅願所ニシテ。行基菩薩ヲ開山トシ。再興ハ慈覺大師ナリト云。緣起ニ載ル所カクノ如クニシテ。尤妄誕ニワタル事多クシテ。ウケガフベカラズ。サレドモ。古ノ盛ナリシ事ハ論ナカルベシ。今モ近邊ノ土中ヨリ古瓦ヲ得ルコト多シ。是又伽藍ノ舊蹟タルノ一證トスベシ。

鐘樓　本堂ニ向テ左ニアリ。鐘徑二尺六寸。高四
尺六寸。銘文アリ。

敬白武藏國橘樹郡榮興寺

奉治鑄搥鐘一口

右伏以當山蒲牢。開基已来革更。其數不一。或雖冶
鑄。有破裂而無聲。或雖討得。有薄罟而不鳴。肆緇
素數輩。勵筋力。廼息氏終鑄鴻鐘。當知三寶垂感
諸天降臨。仰願皇亂永惰。佛日彌明。伽藍鎮靜。法
輪常轉。將文結緣貴賤。感衆病悉除之。勝利奉加
道俗仰願檀主東方之盟誓。仍昭銘功德。其辭曰。

寺號榮向　山名醫德　萬治□星
應鐘日擇　新鑄息鐘　罄形卓犖
百千萬劫　定朝渺邈　驚起塵夢
消除煩濁　滅罪生善　令人正覺

于時萬治三年庚子十月二十三日

大願主三國傳燈。傳戒大和尚位。竪者辨盛
法印。

山城國愛宕郡。二條釜坐住人。鑄物師御大
工。

大西五郎左衛門尉。藤原村長作。

下野川領主。大岡次郎兵衛尉。藤原朝臣
直利。
已下交名畧ス
泰教院殿耀譽天清原月大姉
寳龍院殿花月壽永大姉
光臺院殿従五位前兵部少輔養譽推安
道山大居士
悟真院殿従四位前典厩
無量院殿観譽妙壽大姉
長譽日秀了山大姉

風山景程白日照月翁大禅定門
長壽院清月光譽花月永照大姉
權大僧都豎者法印快曉

影向石 堂ニ向ヒテ右ノ方ニアリ。四方ヘ垣ヲ廻ラシテ。猥リニ人ノ近ヅクコトヲ許サズ。石ハ六尺餘ニ四尺許ニシテ。高サ一尺八寸許。中ニ僅バカリ凹キ處アリテ。水ヲ湛ヘタリ。此水タトヘ汲トルトイヘドモ。一夜ノ間ニ又元ノ如ク水湧出ストス。石性色白クシテ青キ处モアリ。今世燧ニ用ル石ノ如シ。苔ムシテイカニ

モ古ヨリコヽニアリシモノト見エ。縁起ニ云
所ハ。天平年中此地開闢ノ時。帝ノ御夢ニ入。
其後此石ノ水中ヨリシバ〳〵龍燈アガリシ事
ヲ初メトシテ。此水ノ奇特ヲサヽ〴〵ニ記セリ。
元ヨリ妄誕ニシテ取ニタラズ。今参詣ノ諸人
竹筒ノ内ヘ此水ヲ盛テカヘリ。眼病及ビ諸病
ニ用ヒテ驗アリト云。

影向石碑

嗚呼神道之妙。聡明正直也。此地堂搆。往昔天
平之年初基焉。

文德帝之御宇中興焉。悉因王造。有石象凹。清泉
常滿。一飲其水。則沈痾盡。人至誠所以感於神也
矣。余曾患眼也多年矣。醫藥極術而未得其驗。偶
至此禱之。則雙明漸愈。雖未如平人焉。大半獲。快
矣。嗚呼靈泉之妙。何潤千里也哉。敬拜神靈之威
德。而片石以識不朽。且表尊信之志也矣。延享丙
寅季秋。東都法眼桂川先生門人。和州城下郡大
泉村。森本亙直建之。

東都　菊池政房代撰
平林惇信書

白山山王合社　本堂ノ艮ニアリ。僅ナル祠ナリ。
傍ニ銀杏ノ古木アリ。圍一丈八尺許。

十王堂　本堂ニ向テ右ノ方ニアリ。二間半四方。
閻魔ノ像長三尺。餘ノ九軀ハ長一尺。

塔頭舊蹟　古ハ十二寺アリテ。各藥師ノ十二神
一躰ツヽ安置セシガ。イツノ頃カ皆廢シテ。其
跡ダニ知ラザルモノ多シ。寺名左ニ載ス。

金剛寺　當寺ノ西ノ方ニアリシト云。今其跡ハ
、畑トナレリ。本尊ハ不動ニシテ。十二神ノ内寅
ノ神ヲ祀レリ。

金剛院　卯ノ神ヲ祀レリト云。今ハ舊蹟モイヅ
、カタナルコトヲ傳ヘズ。下並ニ同ジ。

東光院　辰ノ神ヲ祀ル。

福聚院　巳ノ神ヲ祀ル。

西藏寺　午ノ神ナリ。觀音ヲ本尊トセリ。今村内
ノ聚海山西藏寺ハ。天台宗ニテ。シカモ正觀音
ヲ本尊トスルトキハ。是則古ヘ影向寺ノ塔頭
ニテアリシモ知ルベカラズ。然レドモ數度ノ
回祿ニ記録ヲ失ヒタレバ。今ヨリ考フルニ由
ナシ。

慈眼院　未ノ神ヲ祀ル。

峯藏院　申ノ神ヲ祀ル。

西光院　酉ノ神ヲ祀ル。

西明寺　本尊ハ大日ナリ。戌ノ神ヲ祀ル。今小杉村西明寺モ。大日ヲ本尊トス。且昔ハ隣村有馬村ニアリシト云トキハ。若此西明寺ノ事ナルモ知ルベカラズ。サレドカノ寺ハ真言宗ナリ。モシヽカラシニハ。後ニ改宗セシモノナルヘシ。

正覺院　亥ノ神ヲ祀ル。

常樂院　子ノ神ヲ祀ル。

安養院　丑ノ神ヲ祀ル。

西藏寺　村ノ中央ニアリ。天台宗。多磨郡深大寺村深大寺末。聚海山正観院ト號ス。開山ノ年代ヲ知ラズ。今第一祖トスルハ了海法印ナリ。是ハ中興開山ナリト云。サレドモ長享二年三月寂ストイヘバ。此人ノ開闢ナルモ知ルベカラス。客殿六間四方。本尊正観音ヲ安ス。木ノ立像ニテ長一尺五寸。運慶ノ作ナリト云。

慈教院　下分ノ寮ナリ。天屋坂ニアリ。三間四方ノ

堂ナリ。

辨財天社　寮ニ向テ右ニアリ。小祠ナリ。神躰ハ木ノ坐像ニテ長五寸許。

地藏堂　上分ノ持ノ寮ナリ。字クヌキ坂ノ下ニアリ。四間ニ三間西向ナリ。地藏ハ木ノ立像ニテ長二尺許。

觀音堂　村ノ艮ノ方ニアリ。二間半ニ三間。コヽニ聖德太子ノ像アリ。長三尺許。太子十六歳ノ御時ノ貌ヲ寫セシナリト云。佛工運慶ガ作ナリ。此像モト影向寺ノモノナリシガ。何ノ頃ヨリカコヽニ安セリ。

墳墓

僧圓海墓　村ノ中央。農家墓所ノ側ニアリ。青石ノ碑ニシテ。正面ニ權大僧都圓海ト刻ミ。下ニ寶德三年辛未正月十四日ト彫ル。此僧ノ履歴ヲ傳ヘズ。イカサマニモ故アル人ナルベシ。何レ天台宗ト見ユレバ。影向寺ノ世代ナラン。

舊家

名主新右衛門　御靈屋料ノ民ナリ。先祖ヲ亀谷玄蕃吉家ト云。家傳ノ古系圖ト云モノアリ。中古何

人カアマタ僞作セシ假名書ノ本ナリ。元ヨリトルニ足ルコトハナケレドモ。舊家ナル事ハ論ナシ。

名主翁助　影向寺領ノ氏ナリ。和田ヲ氏トス。小太郎義盛ガ子孫ナリト云傳フ。系圖モ藏セシガ。ユヘアリテ失セリ。太刀一腰ヲ藏ス。長二尺八寸アリ。又分家長藏ト云モノアリ。是モ古キ長刀ヲ藏セリ。

新編武藏風土記巻之六十二終

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan